DX 企業講話 シナノケンシ株式会社 様





総務本部人事部人事課 小野塚 様

経営戦略室 矢島 様

講話内容

- ・地域企業における DX の取組
- ・企業の紹介(講師のキャリア、社歴、製品開発内容、市場等)
- ・変化する世界(働き方、AI やロボット等の活用) など

学生のワークシートから抜粋

【わかった企業情報等】

- ・小型モーターを製造している会社。
- ・自動化が進んでいる世の中では、これからも高い需要。
- ・売上比率は約98%がモーター事業。
- ・日本の消費電力の55%がモーター。
- 動きのあるところにはモーターがある。
- ・モーターには機械・電気・情報・化学などの技術要素が集約されている。
- ・同じモーターをたくさん作るのではなく、お客様の希望に応えてそれぞれのモーター を作ることに力を入れている。
- ・宇宙事業へ参入している。リアクションホイール(姿勢制御措置)を開発している。
- ・有名な製品や知っている製品に多く使われていた。
- ・この3年間で働き方が変わった。あくまでも人が主役、AI等デジタルはツール。

【気づいたこと・学んだこと等】

- ・機械をつくるためには、機械のことだけでなく、日常で使う知識も大切であることがわかった。
- ・機械部品の構造を見られて、細かい所まで作れていて、すごかった。
- ・物をつくることが好きな人にとってこの職業はとてもいいと思った。モーターのこと、 シナノケンシ株式会社様のこと、産業のことなどを詳しく学べた。
- ・自動車に使われるモーターの数が増えたということを知って、これからもっと、モーターの需要量が多くなるのではないかと考えた。

- ・身近なモーターの種類やメーカーを調べてみたくなった。
- これからどのようなビジネスがはやっていくなどを知っていきたいと思いました。
- ・機械としてどうか、ということだけを見るのではなく、日常で使うにはどうなのかなども考えていきたい。
- ・「世界中の人びとの希望と快適をカタチに」という言葉にスケールが大きいと感じ、自 分も大きい目標みたいなものを見つけられたらいいなと思いました。
- ・上田にこのような会社があるということを知ることができた。 私は最終的には地元で働きたいと思っているので、また1つ会社を知ることができた。
- ・自動化や AI 化の時代になるから、自分が機械系の仕事についたとき、高校で学んだことを生かせるようにしたい。
- ・買った商品にどこの会社の部品がつかわれていて、どんな部品を作っているのかを調べて製品選びをしたいと思った。
- ・モーターって本当に、身の周りの物にたくさん使われていてすごいなと思いました。 シナノケンシさんのことももっと知りたいと思いました。
- ・人が出来ること、機械やロボットが出来ることはわけて、効率を上げていければいい なと思った。
- ・見せてもらったモーターの精度がすごくて自分も作りたくなった。
- ・モーターは、自分の思ったよりも医療などにもつかわれていてすごいなと思いました。
- ・モーターをつくっている丸子の会社が宇宙事業に参入しているとは知らなかった、自 分は宇宙が好きなのでとても面白そうだと思った
- ・自分は工業科なので、このような講義はとてもありがたい。機械の大切さ、便利さを あらためて考えた。
- ・将来の就職の参考にしたいと思った。